

う めゆ
鵜 鮎 つうしん



岐阜ダルクニューズレター

こんにちは、岐阜ダルクです。
この度、岐阜ダルクニューズレター発刊の運びとなりました。
私達の活動を少しでも皆様にご覧いただける事を願って皆様に
メッセージをお届けしたいと思っています。
どうかよろしくお願ひいたします。

岐阜ダルク後援会長就任にあたって

由井 滋

一昨年11月下旬、岐阜県にダルクを作る為の、開設準備フォーラムが開かれた。

名古屋・三重にダルクを開設された外山さんに誘われて参加させていただいた。沢山のダルクの仲間が応援にかけつけ、アーサーホーランド師の話は印象的であった。

それから1年がたち、名古屋ダルクに通い続けていた遠山さんが岐阜ダルクの代表になられ、場所も岐阜駅近くにみつけれ、精力的活動している様子をうかがい共感しました。何回かお会いし、後援会長がどうしても見つからないとの事。最後に、外山さん、遠山さんより口説き落とされ、就任することとなりました。今まで、いろいろな会の代表を引き受け、ほとんど働かない自分を情けなく思っているところです。しかし、それぞれの会が地道に活動している姿を見るにつけ、このような人間も少しは役立っているのかと思っています。

皆さん、どうか、岐阜ダルクを心にとめ、支援して下さることを願って就任の挨拶とさせていただきます。

ご支援・ご協力ありがとうございます

岐阜ダルク代表 遠山 香

平成16年10月1日に薬物依存症からの回復支援施設「岐阜ダルク」が開設され、早いもので1年が過ぎました。皆様のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。

ダルクの責任者なら簡単にできそうだなとたかをくくっていた私でしたが、見るのとやるのでは大違いでした。とにかくダルクにはお金がありませんでしたから、活動資金を集めるため毎日どなたかに会い続け支援のお願いに歩きました。行った先々で「大変ですね、大切な働きですね、頑張って下さい。」とありがたい言葉をいただきましたが、「言葉はいりから、お金を下さい」と叫びたかった。そんなふうにしかならぬ、始めは思えませんでした。活動資金がなかなか集まらないことの不安とあせり、利用者もはじめはいませんでしたからプログラムを一人で行うさみしさなどで何度泣いたことでしょうか。

名古屋・三重・岐阜のダルク創設者、外山さんが「自分もそのようにしてダルクをやってきた。自分自身の自立のために必要なこと」と言っていましたので、とにかくお金が集まるか集まらないかは私の問題ではない。必要なら与えられる。私のできることは、ベストを尽くして行動するだけだと信じて活動資金のお願いとPR活動をし続けました。気づいたら、あっという間に1年が過ぎていました。苦しい体験をしたからこそ、支援して下さる方々への心からの感謝、そしてダルクに繋がった仲間の大切さを身にしみて感じられるようになりました。近頃は、人のあたたかさにもふれられしくて泣いています。

この1年間に岐阜ダルクには160件を超える相談がありました。しかし、なかなかリハビリを受けるところにまで至らないというのが現状です。現在は入所者2名でプログラムを行っています。

岐阜県でダルクの活動を理解していただくには、まだまだ時間がかかるようです。行政・司法・教育・医療関係者とのネットワークづくりに取り組み、ダルクを通して多くの薬物依存者が回復できるようこつこつと活動していきますので、どうか皆様の暖かいご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

薬物依存回復道中にて

春

薬物依存症の春です。

現在、岐阜ダルクでプログラムミーティングを受け、そして薬物無しの回復をし続けています。

最初に入寮したのは今年の5月の事。三重ダルクにつながりました。ダルクという施設や薬物に対する依存症という病気を知ることになった。今思えば、知ることが出来たのはこの時が初めての事でした。

その時の僕は・・・頭はマルコXでした。薬でよれる日々、金欲しさと妄想で夜も明けろころ、親戚の家で暴れ、金を要求し、家内を破壊し、男一人のじいさんと取っ組み合いになり、じいさんは救急車で運ばれ、気が落ち着いたら、ふと気づくと母親や兄までいた。また意味不明な事を言っては狂ったらしい。親戚のおばさんが呼んだバトカーに乗った。向かった先は、まっすぐ精神病院だった。「なんで？」って僕が聞きたくなるけど、どこにも寄らず精神病院まで運ばれた。病院は違うけど、共に病院に行くことになった。違ったのは僕は生きてて、じいさんは死んだ事でした。

その少し前、菊の紋のオシャレなステッカーを貼った街を騒がすバスを、よれて運転中、赤信号の交差点をクールに回ったつもりが、そのままトレーラーにぶつかっていった。そのままの状態でも救急車に乗って、そのままその現場から去り、そのままサヨナラした事でも大変な事だったと思う。これが、つながる最も最近の出来事でした。

でも、幻聴や妄想で、怒ったり恐怖したりで様々な事が自分を襲い、死ぬ思いや恐怖で怒り狂ったりした事や、車もどどんポコポコになっていき、そんなポコポコの車を乗り回すしか無い様な頃、色々な過去がありました。

今回も頭を丸めることで、丸くおさめてくださいなんて、それしか勇気も何も思い付く事すらなかった。社会的信用・家族・親・友人など気がつくともみな崩壊していた。一方、頭を丸めて「丸くおさめて下さい」なんて誰も聞き入れないし、相手にもされなくとも頭をよく丸めていました。

三重ダルクのプログラムは4日間だけでしたが、薬にこりない僕は「サヨナラだね」なんて、2日前まで薬を使用していてドロドロ、エロエロだったけど、そんな事ではと思う武士の心から、もったいないとは思いつつ、前日は朝からまる一日サウナ風呂で時間を使い遣り着いたので、歩く事も、何もかもがだるく、えらく頭痛がして、そんな記憶だけが生々しく残ってます。

4日が過ぎ、秋田ダルクに行くことになった。新幹線ホームに秋田の仲間が迎えに来てくれていましたが、こう思いました。

「ちょっと悪そうな人だなあ〜」。そう思いながら着いた先の玄関には、スキンヘッドの大男が立っていました。よく見なくても左右の肩から腕に龍の絵が、その人を見てこう思いました。「わざわざ出迎えてくれなくても、明日には帰りますから」素直にそう思えた。夜も遅くなった日の事でした。次の日、その仲間から事務所に責任者が来てるから、一応挨拶してと言われ、事務所のドアを開けてその様子を見た直後、溶けたくもなかったし、花びらの様にちりたくもありませんでした。スキさえあれば後ろを向いて去ることさえ、うっすら考えた。何か話している様でしたが、何を話しているのかもさっぱり分かりませんでした。タイミングで「帰ります」と言うしかないと思っていて、その感情がMAXに達して、言葉が喉の上まできたその時！！大声で「ここでやってみるか!？」と言われ、思わず「ハイ」と元気に答えてしまった。

それから約一年間を秋田ダルクで過ごした。起こることすべてが色々な思い出になりました。薬を使用せず、色々な事を乗り越えたり、色々な所に行ったり、教会で折ることも初めての事でしたし、色々な事を楽しむこと、喜怒哀楽みたいなものが初めて感じ取れるようにされたと実感しています。

現在、岐阜ダルクでは、朝掃除をして、ミーティング、合間に食事をしたり私用をして、13時30分から、長良川までの2.5Kmを走り、川にとびこんでいます。それから電車に乗ってミーティングに出かける。これだけを毎日やっている。単調そうだけど、実はすごく色々な苦しいこと、楽しいこと、悔しいこと、色々な感動が果てしなくあります。

秋にもなり、堤防に寝転がって、日焼けをしているとこんな事を思い出しました。薬によれて、F1レーサーの様に車を走らせて、追跡妄想や幻聴から逃れようとして、堤防を下り、泥やじゃりをかきわけ、草むらまで突っ込んで、さらに奥の茂みまで入ったり、途中ではまったりして、セダンの車は泥まみれでそれでも薬と雑誌は大切に持って、日が暮れるまで一人で薬と遊んでるつもりで僕が居たときの事。そんな僕の人生を十数年と繰り返してきた過去の自分と空を見ながら、ハイパーパワーに「どうか薬無しの人生の素晴らしさを僕にもっと与えて下さい」と今は折る僕がいます。



弱いからこそ美しく

笠嶋 敏

長良川から見る金華山が美しく紅葉しています。

岐阜ダルクから走り始めて30分後、ハトハトになった自分をいやしてくれる景色が目の前に広がり、自然の素晴らしさに感動しながら、再びゆっくり走り始めます。今年の1月から15年を経て、名古屋ダルクに通い始めました。薬物を使わず過ごした日々、始めの頃は自分の生活の中心がなかまとの間わりでした。ミーティングに走って行きました。自助グループのメッセージにも積極的に参加しました。クリーンが続く中で、徐々に優先順位が変わっていききました。女性への共依存、ずっとコンプレックスを持っていた社会復帰。

ミーティングの回数が減りました。自分の弱さを正直に話す機会が減りました。「自分は大大夫」。薬物を使っていた頃と同じ傲慢な自分になっていました。去年から、精神的に落ち込んだり、腹立つことが多くなったり、最後にはお風呂に入るのが恐くなったり、いつも通っている道が分からなくなりました。

「死にたくない」。再びダルクに助けを求めました。岐阜ダルクには何回か名古屋ダルクの仲間と来ました。始めの頃はあまり走れなかったけど、夏頃には高橋尚子ロードの終点まで仲間と一緒に走れるようになりました。岩の上から、長良川に飛び込んだり、浮き輪で川を下ったり、一人ではできない事を仲間と一緒に笑いながらできました。

今、週末、岐阜ダルクに行っています。自分が15年前に名古屋ダルクで経験した様な、小さくて、貧しくて、それでもあったかい空間がそこにはあります。弱いからこそハイパーパワーが見守ってくれる。そんな岐阜ダルクが大好きです。ボランティアの岩佐さん、ピア岐阜のまおさん、あったかい人達に支えられて1年が経ちました。これからも小さくて美しい岐阜ダルクを支えて下さい。

*ピア岐阜 薬物依存の問題を考える家族・友人の会

岐阜ダルクのボランティアになって

岩佐 茂宗

初めまして、私は今年2月から岐阜ダルクへボランティアとして、月〜土までの午後から、リハビリプログラムや病院でのメッセージ、講演などで事務所が無人になりますので、電話番号、留守番などの雑用をしています。最初、ダルクはどのような施設か分からず、本を読んだり、話を聞いて

「薬物依存者をリハビリプログラムにより回復を目指す施設」で、ほとんどの費用が献金などの援助を受け活動していることを知りました。

そのため、代表の遠山さんは来る日も来る日も支援していただけたらいい教会、行政、弁護士、学校などを訪問しお願いをしますが、薬物に対しての偏見があり、なかなか理解が得られず、苦しく厳しい状況が続いています。

こんな時にも遠山さんは、性格は明るく、気遣いの人で、人情的で涙もろい方ですので、苦しいことをおくびにも出されません。

また、入所者の皆さんもリハビリプログラムを毎日休まずこなし、回復する努力を見ると、間違いなく回復できることを確信しました。

私はこんな姿をみて、これからも岐阜ダルクから「来なくていい」と言われるまでボランティアを続けて行きたいと思います。

岐阜ダルク 1年間の主な活動報告

- | | |
|-----|--|
| 1月 | 岐阜県保護司研修会講演 |
| 2月 | 岐阜県保護司研修会講演 |
| 3月 | 名古屋市男女平等参画推進センター研修会講演 養老更生保護女性部会講演
薬物関連問題研修会 |
| 4月 | NAギャザリング参加(オアフ島) 大垣信徒会講演 NAPIセミナー参加 |
| 5月 | 朝日大学法学部ディスカッション 東部西部少年補導員協議会研修会講演
土岐市民生児童委員協議会講演 岐阜県遊技場協同組合助成金贈呈式 |
| 6月 | 土岐市立土岐肥田中学校講演 岐阜市立陽南中学校講演 |
| 7月 | 岐阜県立岐南工業高等学校講演 大垣日本キリスト教会婦人部会講演
ライフアーズ試写会 |
| 8月 | 三重ダルクフォーラム参加 NAワールドコンベンション参加(オアフ島)
岐阜加納教会婦人部会講演 |
| 9月 | 岐阜カトリック教会婦人部会講演
ダルク後援会会議 シェルターシンポジウム 岐阜市教育研究所講演 |
| 10月 | 公明党女性議員研修会講演 |
| 11月 | 薬物乱用防止シンポジウム講演 大阪ダルクフォーラム参加
岐阜市立本荘中学校講演 岐阜市精神保健福祉ボランティア講座講演
岐阜市生徒指導研修会講演 一宮聖公会講演 びわこダルクフォーラム参加 |
- 毎月第2水曜日 午前10:00~午後16:00 薬物電話相談日
 - 各務原病院薬物ミーティング参加(毎月)
 - 慈恵中央病院NAミーティング参加(毎月)
 - 9月から毎月1回、岐阜笠松刑務所メッセージ始まりました

1 NAとはナルコティクスアノニマスという薬物依存からの回復をめざす自助グループです。

献金者名

H15年度~H17年10月分

熊谷仁実 下村静子 二村直美 田中修
小塩龍秋 坂上香 須藤八千代 林優
大出忠雄・静枝 田邊鈴子 中本エリ
見田啓子 菊池剛聡 吉川エイジ
穂波万有里 河野俊男 鈴木牧師
サイフェルト・ローマン 佐藤郁子
笠嶋敏 伊藤陽子 竹谷神父 八田栄子
上田千津子 廣田耕作 前田まゆみ
吉田和郎 田伏英晶 成井尋江 津山昇
三輪一枝 西堀扶美子 岡田千歳
小塩美津 水野依都子 近藤愛子
渡辺雅子 吉原秋枝 永塚正一 神山明
鈴木郁雄 太田喜久雄 中村俊男
伊藤幸雄 稲垣嘉則 青井初恵
山田七緒子 岡田喜美江 富永いたる
浅野雅彦 後藤克子 村山和恵
藤田千勢 ひとみ じゅんこ N Q
アイ 日比野 名畑 平井 高井 増井
浅野 堀田 小出 山県市保護司・高島
桑名フィオレット・林恵子
フィット薬局・中田周三 各務原病院・
天野宏一 那加教会・中根牧師
慈恵中央病院・四十塚龍雄 川原聖
朝日大学法学部・大野正博
ピア岐阜 養老女性部会 ドムクスしず
おか 名古屋ダルク後援会 愛知家族会
大垣日本キリスト教会 豊田聖心教会
サンバレー各務野ディサービス職員一同
キリスト信徒集会所・ベクニアホーム
カトリック春日井教会 聖心布教会
江南カトリック教会 カトリック高蔵寺
教会 カトリック東山教会
カトリック南山教会 平針カトリック教

会 大垣キリスト教会 小牧カトリック
教会 春日井修道院 押切カトリック教
会 岐阜カトリック教会女性部会 岐阜
カトリック教会 いのちの泉教会 日本
聖公会岐阜聖パウロ教会 インマヌエル
岐阜キリスト教会 カトリック弥富教会
SDA岐阜キリスト教会 慈恵中央病院職
員有志一同 尾西カトリック教会
日本キリスト教会岐阜教会 西濃地域保
健所揖斐センター カトリック東山教会
カトリック大垣教会 カトリック瀬戸教
会 カトリック岡崎教会 カトリック一
宮教会 犬山教会・井上二郎 聖マリア
無原罪修道会¹ カトリック各務原教会
カトリック美濃加茂教会 他匿名の皆様
(敬称略 順不同)

献品者名

松浦良昭 ちか 津山昇 アイ 林隆雄
穂波万有里 藤田千勢 笠嶋敏 林昇
宮本紀明・倫子
日本聖公会岐阜聖パウロ教会・伊藤幸雄
(敬称略 順不同)

助成金

中日新聞社会事業団 岐阜支部
岐阜県遊技場協同組合

●ダルクの設立期間よりたくさんの皆様
からご献金とご献品をいただきまして、
誠にありがとうございます。お名前に
漏れ・誤字がございましたら、恐れ入
りますがダルクまでご一報をお願いいたし
ます。引き続き、皆様のご支援を
心からお願ひ申し上げます。

献金のお祝い

ダルクは皆様の善意の寄付によって支えられています。しかしながら、薬物依存症には偏見と無理解が多く、なかなか活動資金が集まらず苦しい運営を強いられています。大変心苦しく思いますが、どうか私たちを助けて下さい。皆様のご協力をお願いいたします。

郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会
銀行振替口座 十六銀行 問屋町支店 普通 1261434 岐阜ダルク 代表 遠山 香

編集後記

創刊号の鶏^{ニトリ}貼^{カキ}つうしんはいかがでしたでしょうか？
構想からはや数ヶ月を経て、やっと皆様のお手元に私どものメッセージをお届けすることができました。ご意見、ご感想をぜひお聞かせ下さい。

岐阜ダルクは皆様のご支援を風として、1周年のフォーラムを無事迎えることができました。これからも、きっと色々な仲間が登場し、そして、様々な経験が与えられるでしょう。先日、ダルクの仲間と一緒に長良川のロードコースをマラソンしました。一人では出来ないことが、仲間となら経験することができることを実感しました。いつも、仲間の成長を羨んだり、楽しんだりして、このダルクの成長と共に私自身も色々なことが与えられ、成長させていただいていることにとっても感謝しています。ダルクの仲間たちは沢山の気づきを与えてくれます。そして、とても 神様に選ばれた人達なのだと思います。

仲間へ ありがとう。そして、YOU ARE LOVED! ☆☆☆ (黒猫じじ)



鶏貼つうしん 創刊号

★編集 岐阜ダルク

〒500-8175 岐阜市長住町 7-3

TEL/FAX: 058-251-6922

郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

銀行振替口座 十六銀行 問屋町支店 普通 1261434 岐阜ダルク 代表 遠山 香

★ 定価 一部・100円

★ 編集責任者 遠山 香

★ 発行者 岐阜ダルク